

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動論Ⅰ（母子保健） 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

母子保健分野における保健活動の歴史的な変遷や現在の施策及び動向を踏まえて、健やかな育ちの支援とそれを見守り育む地域づくりについて学ぶ。妊娠・出産及び乳幼児期を中心に、育ちの過程に応じながら切れ目のない支援を目指す、公衆衛生看護展開の視点と技術を学ぶ。上記の学びを通じて保健師の役割を学修する。

【到達目標】

1. 母子保健・成育過程にある者と家族への保健活動について、課題の歴史的変遷や目指す状態像を説明できる。
2. 成育過程の連続性と各段階の支援課題を説明できる。
3. 主要な母子保健施策および乳幼児期に関する児童福祉施策、成育基本施策について説明できる。
4. 「切れ目のない支援」の体制構築が必要な理由と主な取り組みについて説明できる。
5. 母子保健・成育基本分野における公衆衛生看護について説明し、看護職の役割を説明できる。

【授業計画・内容】

- | | |
|-----|--|
| 第1回 | 母子保健に関する健康関連指標の歴史的変遷、現代的課題とそれへの施策 |
| 第2回 | 切れ目のない支援Ⅰ（プレコンセプションケア・妊娠期から乳児期） |
| 第3回 | 切れ目のない支援Ⅱ（乳幼児の育ちと乳幼児健診、育てにくさへの気づき） |
| 第4回 | 切れ目のない支援Ⅲ（学童期から思春期の育ち、子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり） |
| 第5回 | 育てにくさを感じる保護者への支援（低出生体重児、発達障害、小児慢性疾患など） |
| 第6回 | 子育てのリスクを持つ家族と地域での支援Ⅰ（児童虐待を中心に） |
| 第7回 | 地域での包括的な子育ての支援（健やかな育ちに関連する制度と公衆衛生看護活動） |
| 第8回 | 地域での包括的な子育ての支援（健やかな育ちを見守り育む公衆衛生看護活動の実践） |

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

母性看護学や小児看護学で学んだ内容を復習して講義に臨む。講義後は学修内容を復習する。

【主な関連する科目】

「母性看護学」「小児看護学」、「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」などの公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

インターメディカル：公衆衛生看護学.jp 第6版，2024.

厚生労働統計協会国民衛生の動向 2023/2024年版，厚生統計協会，2024.

【参考文献】

標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院、2024

最新保健学講座3 公衆衛生看護活動論①、メヂカルフレンド社、2020.

最新公衆衛生看護学 第3版 各論1、各論2、日本看護協会出版会、2012.

【成績評価方法】

受講態度等（5%）、提出課題（30%）、定期試験の成績（65%）による総合評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

市町村保健師、小児難病の支援や児童虐待防止のNPOでの保健師経験を活かし、妊娠を機とした健康支援・困難を抱えながらの育ちの支援と、支援ネットワーク形成についての授業を行います。

【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して授業に臨みましょう。特に、公衆衛生学・公衆衛生看護学概論・母性看護学・小児看護学で学んだ内容を基礎として授業を展開します。復習をして授業に臨んでください。あわせて、妊娠・出産、子育て、児童虐待、病気や障害とともに育つ子どもさんなど、授業に関連する報道にも関心を持ち、自分が保健師・助産師・看護師としてそのテーマに向き合った時どうしたらよいか、考え調べたり、学生間で意見交換などもしてください。